

公益財団法人 埼玉学生誘掖会

第18回（令和2年度）奨学生募集要項

1 応募資格

- (1) 東京都内及びその近郊に所在する大学の学部にて在学し、学業・心身ともに優良であり、かつ、学費の支弁が困難と認められる者とする。
- (2) 在学大学の推薦を受けた者（この場合でも、出身高校長の推薦を要する。）
- (3) 埼玉県内高等学校長の推薦を受けた者（この場合でも、在学大学の推薦を受けることが条件となる。）
- (4) 埼玉県出身者の子弟（学費を支弁する父兄の本籍又は居所が埼玉県内にあるか、若しくは過去埼玉県内に本籍又は居所があった者）に限る。
- (5) 令和2年度の新入学生に限るものとし、2学年以上への編入者を除くものとする。

2 採用予定数

大学生（短大及び大学院を除き、学部・学科を問わない）6名程度

3 奨学金の額

年額250,000円を年2回（7月及び2月）に分けて給与（返還の必要はない。）する。

4 奨学金の給与期間

- (1) 給与期間は、入学から卒業までの正規の最短修業年限（学部修業年限の4～6年間）を原則とする。
- (2) 大学が休学を認めた場合は、その休学期間中の給与を停止し、その休学理由が真にやむを得ないと本会が認めた場合は、その停止した期間を復学後の残修業年限に加算することができるものとする。
- (3) 留年等による卒業延期の場合は、最短修業年限をもって給与を停止する。
- (4) 退学した場合は、その時点で給与を廃止する。

5 併願・併給の制限

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構との併願・併給は認める。
- (2) 大学が自ら実施する奨学金（特待生等として授業料等を減免する場合を含む。）との併願・併給は認める。
- (3) 地方公共団体、公益法人、その他の団体又は個人が実施する奨学金の場合で、本会と類似する形態の併願・併給は原則として認めない。

6 申込み方法

- (1) 奨学生願書（本会所定用紙）
- (2) 小論文（テーマ「大学で学びたいこと」について、2,000字以内）
- (3) 在学学長又は学部長の推薦書（書式・様式任意）
- (4) 出身高校長の推薦書（書式・様式任意）
- (5) 在学証明書（大学の所定様式）
- (6) 高等学校卒業時の調査書（高校の所定様式）
- (7) 保護者の前年度収入金額及びその証明書（給与の源泉徴収書又は所得税確定申告書若しくはこれらに準ずる所得の証明書）
- (8) 締切日 令和2年5月19日（火）必着（本会への必着日であるので、大学窓口への提出期限を確認すること）

7 選考と採用

- (1) 第1次審査は書類選考で行い、第2次審査は本会の選考委員による面接を実施する。
（面接日は6月7日（日）午前中を予定しているが、志願者には別途通知する。）
- (2) 採用は、選考委員による選考会議を経て理事会で決定する。
- (3) 採否の結果は、6月末までに在学大学経由で連絡する。

8 行事への参加

奨学金受給者は、本会が実施する奨学生との懇談会及び研修会等（併せて年2～3回実施）に出席させる。

なお、地方大学の場合であっても、原則として本会行事への出席を求める。

9 その他

- (1) 奨学金受給者には、毎年、修学状況についての報告を求め、かつ、成績証明書を提出させる。
- (2) 奨学金受給者は、本会のOB会である「埼玉学生誘掖会舎友会」に入会する。
- (3) 応募関係書類は、一切返還しない。

10 連絡先

102-0074 東京都千代田区九段南3-9-11 マートルコート麹町305号室

公益財団法人 埼玉学生誘掖会 事務局長 山城博光

電話・FAX 共通：03-3262-6013

E-メールアドレス：sadohara@saitama-yueki.or.jp

ホームページ：<http://www.saitama-yueki.or.jp>

令和2年 月 日

公益財団法人 埼玉学生誘掖会

奨学生願書

公益財団法人 埼玉学生誘掖会

会頭 保泉 欣嗣 殿

写真貼付
(上半身・脱帽)

上下 4.5cm

左右 3.5cm

ふりがな
氏名 _____ (印)

平成 年 月 日生 満 歳 男・女

貴財団の奨学生として採用されたく、所定の書類を添えて申請いたします。

記入した事項には相違ありません。(提出された書類は、一切返却いたしません)

本人現住所	〒 _____ (電話: _____)	
	住居家屋	自宅 親類 借家 アパート 下宿 寮 その他 ()
保護者現住所	〒 _____ (電話: _____)	
本籍地 (都道府県のみ)	都・道・府・県 (該当に○をしてください)	
戸籍筆頭者	続柄	
在学大学名	大学 学部 科 専攻1年 (入学 令和2年 4月) (卒業予定 令和 年 月)	
保護者の収入額 (学費支弁者全員分)	1 給与所得者 円 (「源泉徴収票」の支払金額欄) 2 申告所得者 円 (「申告内容確認票B」票の所得金額欄)	
所得証明書類 (該当番号に○)	1 給与の源泉徴収書 2 所得税確定申告書写 (税務署等の受付印 又は受領証明がある。) 3 その他 ()	

添付書類

- 1 在学大学の学長又は学部長の推薦書
- 2 出身高等学校長の推薦書 (大学独自の推薦であっても、出身高校長の推薦書を得ること)
- 3 在学証明書
- 4 出身高等学校長発行の調査書
- 5 保護者の収入証明書

(1) 家族の状況 (両親・兄弟姉妹の全部と、同居の祖父母等親族を記入すること)

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業 (学生は学校名/学年を記入)

(2) 家計の状況 (保護者の家計状況と学費支弁困難な状況を差支えない範囲で説明のこと)

(3) 現在までの経歴 (職歴のうちアルバイトは、1ヶ月以上継続したものを記入すること)

期間	学歴 (中学以降の学校名) ・職歴 (勤務先名) ・賞罰など
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

(4) クラブ活動及びボランティア活動歴

期 間	活 動 内 容 (具 体 的 に)
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

(5) 健康状態 (連続して7日間以上の入院を要した過去の病名・期間など)

期 間	病 名 ・ 治 療 の 経 過 (治 癒 か / 現 在 も 治 療 中 か / 後 遺 症 な ど)
年 月～ 年 月	
年 月～ 年 月	

(各項目の記入欄に不足が生じた場合は、行を分割するか、他の用紙を継足してください)

1 自己紹介・分析について

得意学科	
不得意学科	
自己の主義主張 及び生活信条	
趣味・娯楽	
特技・資格	
愛読書など (書籍・新聞・雑誌・その他)	
性格の長所	
性格の短所	
最近興味を覚えた 事柄とその理由	
卒業後の希望進路 又は将来設計	

(記入欄が不足する場合は、他の欄に付記して記入するか、他の用紙で継足してください)

2 小論文の提出

「大学で学びたいこと」についての所感文を2000字以内にまとめて別に提出すること。

書式はA4版とし、手書き・ワープロ印字等を一切問わないので、任意な方法でかまわない。

年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推 薦 書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	学群	学術院	学類	研究群	年次
氏名	_____					

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等 所属 _____ 氏名 _____ 印 _____

家 庭 調 査 書

申請者	所属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____	性別 男・女								
	フリガナ	_____									
	氏名	_____	_____								
		課程 _____ 学術院 _____ 研究群 _____ 年次 _____	現住所 〒 _____ TEL () _____								
		_____	家族住所 〒 _____ TEL () _____								
家族及び所得	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額(税込)	給与所得以外の所得金額			
	父				年		万円	万円			
	母				年		万円	万円			
	父または母 死亡・離別の場合		時期 (年 月)		理由 ()						
	主たる家計支持者無職等の場合		時期 (年 月)		理由 ()						
					年		万円	万円			
					年		万円	万円			
					年		万円	万円			
					年		万円	万円			
	別居者に 家計支持者に○印	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額		
本人				筑波大学	国立		※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
					※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門)	※自宅 自宅外	万円			
家庭の 特殊事情	特別控除項目	控除有無									
	障害者がいる世帯	※有・無	続柄 ()	氏名 ()	手帳番号 ()		万円				
	その他										
本人の 状況	家庭からの給付	月額 (千円)					認 定				
	アルバイト	月額 (千円)	内容 ()				総収入金額	① 万円			
	奨学金	受給中	月額 (千円)	団体名 ()				必要経費	② 万円		
		申請中	月額 (千円)	団体名 ()				特別控除額	③ 万円		
	その他の収入	月額 (千円)	内容 ()				総所得金額	④=①-②-③ 万円			
学業 成績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平均値	収入基準額	世帯人数	人
		大学(院)	A	-	B	C	-			⑤	万円
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者がいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。